

チクバ外科広報誌 vol.22

2019. September

はなし×ちくば

かける

特集 開設50周年に向かう挑戦



Chikuba Hospital for Gastrointestinal and Colorectal Surgery

医療法人 天馬会 チクバ外科・胃腸科・肛門科病院

対談

竹馬
彰

理事長・院長

川野
イツ子

看護部長

開設 特集
50th
Anniversary
周年
に向かう
挑戦

「組織編」

今回は、チクバ外科50周年に向けた挑戦「組織編」の中から看護部の組織強化を中心に、竹馬彰理事長・院長と今年3月に新たな看護部長として迎えた川野部長に、お二人の目指す「挑戦」についてお話を伺いました。

―今年3月の川野看護部長の就任はどのような
お考えで決断されましたか

竹馬…増築を機にある程度、職員の福利厚生も向上し
患者さんへのサービスも充実することができました。

今後は、ソフト面の質を維持するために継続的に若いス
タッフの採用やしつかりした教育が重要と考えています。
その中でも、人数も多く病院組織のコアである看護部の人
材確保・育成はとても難しい問題だと感じていましたから
リーダーシップの取れる部長を切望していました。

部門は、リーダーシップをとってくれる部長がいることで、
主任たちも若いスタッフを指導し継続的な育成ができるの
ではないかと思っていました。

川野部長は、まだ半年ですが期待通りやってくれていると
思います(笑)。本当にありがたい。今の動きを見ていると
本当に来てもらってよかったです。

―チクバ外科に入職して半年経ちますが、川野部
長から見た当院の印象はいかがですか

川野…今まで勤めた中で建物は一番明るくて風通しもい
いですし、職場に到着してから「さあ働こう！仕事だ！」と
いう気持ちにさせてくれますね。

当院は、比較的若手が多いですね。それもすごく刺激的で
したし、部長という肩書きで入らせていただきましたが、
やはり最初は学ばなければいけないことがたくさんあるの
で、どんどん聞いています。皆さん親切に教えてくださって
どっちが部長なんだろうかと思うこともあります(笑)。
すごく助けてもらっていることを感謝しています。

―課題とされている教育・育成についてどうお考えですか

竹馬…専門性をしっかりと持った看護師を育ててほしい
ですね。そうすればプライドを持って仕事にかかわれると
思うし、専門病院なのでそういう人が増えてくることで
コアとなるメンバーができ、院内で「私も勉強しなきゃいけ

ない」という気運が高まってくると思うんです。

川野…長年ここで頑張ってきた、昔から当院を支えてく
ださっている方と、これから10年15年支えていってほしい方
との世代間でギャップがあったりもするのですが、みなさん
「しつかり働こう」とする意欲を強く感じます。個人個人
で聞くと「ケモがしたい」「緩和がしたい」という声も聞こ
えてきます。

竹馬…意欲が高いことはありがたいですね。

うちの組織全体の弱点かもしれないけど、目指すべきお手
本がなかなか見当たらないと思っていましたから川野部長
にはお手本となる人材を育ててほしいですね。

まず川野部長を見て、看護管理を学んで「私もやってみよ
うかな」と思えるようなスタッフが育ってほしいですね。そ
れと専門性の高い看護師がタッグを組んで病院を引っ張っ
て行つてほしいですね。

川野…「私はこういうことをしてみたい」という職員に機
会をきちんと与えてあげたいと思います。研修にどんな
参加してもらって、その先に認定看護師になるという流れ
を作りたいですね。

現在の看護部は、「年1回は研修に参加すること」を推奨
していますが、この研修に行きたい根拠がどこにあるのか。
本人が行きたい研修に行かせて終わりではなくて、継続的
に勉強して将来こうなりたいというものに繋げていけるよ
うな研修体系も作って行きたいですね。今はまだスタッフ一
人ひとりが「どういうことをやりたい」のか聞かせていただ
いている状況なのでそれには、少しお時間をいただきたい
と思います。

私も、急いで結果を出さなきゃいけないとあせるので、先
走ってしまうこともあるかもしれませんが…

竹馬…あせる必要はないよ！

—具体的な現場での育成についてはどうお考えですか

川野…今の主任さん、副主任さんは、上の指示を待っていて、スタッフも人の目を少し気にしすぎて一歩引いているところがあると思うんです。むしろ各々の感性が一番大事だと思うので、「こういった症状のときは、こういったことが起こりうる」というようなことを主任や認定看護師とスタッフ間でどんどん聞いていける関係を育てたいと思っています。次世代といえはA Iとか言われますが、「自分が触って、診て判断する力」を各自つけてもらいたい。

もうひとつは、まったくの新人を今までは各部署受け入れたことがあまりないということなので、経験の浅い人を受け入れて教育して、その人が次の若い人を教育していく体制を作って行きたいと思います。人を育てることでその人も成長するような関係性が理想ですね。

—最近では、看護部内での部署異動や交流も積極的ですが

川野…各スタッフが、他部署を経験することで、他の部署が困ったときの応援体制が組めますから看護の質が下がりません。自分の部門だけのことを考えていては成長できないので、各部署の受け入れ側も、出す側も協力してもらえる体制を作りたいですね。

協力することで最後には、自分たちの部署も助けてもらえることが増えるので自分たちに返ってくると思うんです。

竹馬…かつて医院時代は、小さかったからどの部署もできるような体制でやっていました。

病院が大きくなって各部署の専門性を高めたほうがいいのではないかと流れになったんですが、そうするとやっぱり部署間に壁ができてしまいますよね。他部署のことがわからないという批判しがちになりますからね。

部署間の理解を進めていく方がお互いを思いやる心が出て一体感が出てくると思うし、お互い助け合う風土があれ



ば職員も定着していくと思うですよ。

—今後の問題点はなんでしょう

川野…当院は伝統として、患者さんの要望を色々聞いてくれて小回りが良く優しい病院というイメージがありますが、良くも悪くも色々要望を聞きすぎてスタッフがストレスを溜めすぎないか心配です。

管理者もあまり背負うことを不安に思わないようにしてほしいと思います。

管理者だから自分が全部背負って、自分がやっていけないといけないというよりは、「この人がこういう状況だから助けてあげてほしい」と言えるような管理者になってほしいです。

竹馬…そうだよ。何でも自分が」と思うとしんどくなるよね。

川野…抱え込んでつぶれてしまうと、次に管理者をやるうとする人が育ちにくくなります。まじめで責任感が強い人ほどそうになってしまう傾向が強いのので注意していい



と思います。
体調が悪い人が出ると、休みたいのに「私出るわ」と言ってしまう。そういう時に他部署を経験していれば助け合いができると思うんです。

—以前と大きく変わったところは

竹馬…川野部長は、スタッフや主任が「部長はどんなことをやってくれるのかな」と期待していることにきちんと答えてくれると思っています。

今まで、なかなか前に進まなかったことが徐々に進んでいたり、決まっていたりして、みんな「あ、これは進んでいくんだ」という感覚になってきていると思います。

「半年足らずでこういうことができたんだ」と、スタッフが感じていることが大きいと思います。何より意思決定がスピーディーになりましたよ。

川野…そうだと嬉しいですが(笑)。

私は結論を急ぐんですよね。当初、言葉足らずで、中途半

端なことを言うてしまうこともありました。今はそこを奥野部長と丹羽部長が助けてくれて伝えたりしてくれるので正確に把握でき優先順位を立てながら急ぐものは急ぐし、じっくり考える必要があるものはじっくり考えることが少しできるようになりました。もちろん、現場の主任の協力も早く結果を伝達できる要因で、必要な情報がしっかり入ってくるから判断ができています。助かっています。私が一人でやれているとは決まっています。

特に、3人の部長と理事長で常にコミュニケーションが取れる体制を作ってくれているのでありがたいですね。

竹馬…僕がいなくても3部長が話し合いをしているところをよく見るので、頼もしいですね。お互いにすごく助かっているのではないかと思います。

川野…すごく助かっています(笑)。

竹馬…コミュニケーションもコアスタッフとうまくいっているし、情報が川野部長に集まるようになってきていると思います。川野部長が信頼されているんだと感じますね。

川野…私も知らない強みでどんどん聞いていますから(笑)。

竹馬…今は、すごくいい回転に入っているなあと思っています。止まらずに少しずつ進んでいけるという実感は看護部スタッフも持っていると思いますね。

現在、チクバ外科をやっている医療は、まさしくチーム医療じゃないと診療が成り立たなくなっていますから、やっぱり医師もコメディカルもコミュニケーションが重要ですよね。しかし、どうも僕ら世代はまだ意識だけで足りないところが少しありますね。反省します。

「変わる看護部」に負けないように各部門も一丸となって頑張りたいと思います。よろしくお願いします

医療

いま昔

事情

Medical Circumstances



話山方四療門肛

夫 隆 上 瀧 名 譽 院 長

ごう もん

筆者は昭和53年3月、大学を卒業し、医師国家試験が4月10日にあり、その翌日からチクバ外科に入局、就職し、竹馬先生に師事したのでした。(当時は大病院に入局するのが一般的でしたので、筆者は珍しい属種だったので)卒業したて

の筆者にとつて、第一線の臨床現場では、何もわからず、竹馬先生、特に看護師さんや患者さんに一から教えていただいたのでした。注腸レントゲンを撮るぞとなったら、その脚で医学書店に赴き、教科書を買って朝まで読み耽っていたのを思い出します。

注腸X-IP(当時は大腸の検査といえば、これが主流)と言って、大腸の写真をバリウムと空気を使って(二重造影法)、綺麗に撮るのですが、当初はその要領もわからず、何十枚も撮って、竹馬先生に「あんた、写真を売りに行く気?」と叱られたのを懐かしく思い出します。胃のレントゲン写真を撮る際に、患者さんの載っている透視台の頭の方を下げますが、上手く撮ろうと、レントゲンのモニター画面に集中するがあまり、気がつくくと

患者さんがいない!!!透視台からずり落ちてしまっているではないか!!!間髪を入れず「あなた、儂を殺す気か!!!」

外来ではある日、手を真っ赤に腫らした子供が親に付き添われてやって来ました。まだ国家試験を受けたばかりのフレッシュな筆者は「炎症の四原則は腫脹、発赤、疼痛、発熱であるな。発熱はこの症例にはないが……」「これは炎症です!」と断言し、(この時竹馬先生にも診ていただいていた。筆者の経験のために診させてくださったのでしようが、その様なこととはつゆ知らず)早速、メスで切開し、(膿がでないので少し変だなと感じた)、患部を湿布で冷やして医師の勤めを果たしたと誇っていたのでした。

その日の夕方、別の患者さんが外来に来られ、「先生、凍瘡(しもやけ)になりました。」
凍っていたのは患者さんの手ではなく、筆者の体でした。温めなければならぬのに念入りにも冷やしていたのでした。この紙面をお借りして、当初のことを深くお詫び申し上げます。(つづく)

当院のスペシャリストを紹介する

Special One

病棟主任 重松知佳

CHIKA SHIGEMATSU

「おちこんだりもしたけれど、私はげんきです」
有名なキャッチフレーズが似合う新人主任

看護師になるうと思っただけは何ですか？

母親が看護師であり、自分にとって身近な職業だったことが大きかったんだと思います。

子育てしながら夜勤もして…仕事の不満なんて聞いたことなかったですからね。「看護師さんっていい仕事なんだろうな」って小さいながらに思っていました。そんな母の姿を見ていたこともあり、「保育園の卒園文集にも「看護師さんになりたい」って書いてましたから。小さいころからの夢が叶ったということですね。

看護師の役割・やりがいとは？

看護という字は『手』と『目』で『護る』と書きます。看護は『目』で観て『手』でケアをし、患者さんを『護る』という意味だと聞いたことがあります。

ただ、病気だけを見るのではなく、その患者さん自身を観て、その人の立場になって日々の関わりを持つことを大切にしています。

いろんな職種の方々に助けもらいながら、楽しく仕事をさせてもらっています。（迷惑をかけていることも多々あると思いますが…）現場ではもちろん、休憩中や病院旅行など、どんな時でも「つながり」を感じられる職場

だと思っています。

仕事で大切にしていることは何ですか？

主任という立場になり病棟をまとめる中、何が大切か模索中ではありますが、「二つ思っていることは「楽しく仕事をしよう」ということです。よい人間関係を作り、スタッフが楽しく仕事をするることによってよい看護につながると考えてます。

まとめる立場として考えが甘いなど思われるかもしれませんが、主任二年生はがんばります！

趣味・休日の楽しみは何ですか？

無趣味が趣味。何をやっても続かず…です。

最近の子供たちが習っている剣道への口出しですかね。見稽古5年目です。うるさく口出ししすぎて「じゃ、やってみたら？」と息子に言われる始末。

あと30歳若かったら、やってみたいなと思いますね。

だったら「趣味は剣道です」と言っていた…かもしれません。



当院で研修されている専攻医を紹介する

New Resident

医師 寺嶋大貴

DAIKI TERAJIMA

温厚篤実(おんこうとくじつ)な人柄が魅力。
スキーやスキューバダイビングもこなすアウトドアな一面も。

医師を目指した理由は？

中学生の頃、伯父が癌を患った時に元氣だった伯父がたった半年で衰弱していく姿を見て、癌という病気の怖さを実感しました。現在癌は、日本人死亡原因としては1位であり、伯父と同じように癌で困っている人の力に少しでもなりたいと思い、医師を目指しました。

チクバ外科で働かれて、気付いた事・驚かされた事はありますか？

内視鏡、手術の件数が多いことです。午前・午後共に毎日内視鏡予約でいっぱい、午後も痔核・痔瘻・裂肛の手術が多数あり、大腸癌、潰瘍性大腸炎、クローン病など開腹手術や腹腔鏡手術もされていることに驚きました。病院が綺麗な事や昼食が美味しい事もいいですね。

日々の診療で心がけていることは？

いつも笑顔で患者さんが話しやすいようにと心掛けて診療しています。患者さんの症状があつての医療なのでちょっととした困っ



たことも話してくればなと思つています。お困りの症状の原因は何なのかを探り、必要な検査を考えています。検査をしても原因がはつきりしないこともありませんが、薬物治療で少しでも症状が改善されれば患者さんも日々の生活が送りやすくなると思ひ、日々診療しています。

気持ち切り換えるときにするのは？

欲しい物を買つてしまいます。今は住みやすい家にするために家具や家電を揃えていますね。部屋がどんどん綺麗になっていくことに満足しています。その他には、ゴルフが好きなので時間が空けば練習場に行つてい

今後の抱負をお教えてください。

チクバ外科で炎症性腸疾患、内視鏡技術、肛門疾患や大腸癌の手術について学ばせていただき、倉敷中央病院へ戻つてからは外科専門医の取得、その後は消化器外科専門医、内視鏡技術認定医の取得へ向けて研鑽を積んでいきたいです。

期待のニューフェイス

中山 友佳

YUKA NAKAYAMA

看護師 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

シュノーケリング・三線

好きな言葉

日々努力

笑顔と元気を忘れずに

患者様やその家族の気持ちに

寄り添った看護を行っていきたくです



期待のニューフェイス

片山 真維

MAI KATAYAMA

看護師 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

美味しいものを食べること・
テニス・DVD鑑賞

好きな言葉

環境が人を変える

今の環境に感謝し基本に忠実に、
思いやりのある看護を提供していくことを
心がけています。



期待のニューフェイス

木村 優里菜

YURINA KIMURA

看護師 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

趣味がないので今後見つけて
いければと思っています

好きな言葉

「取り敢えず」やってみる

分からないことを分からないままにせずその都度
聞いて出来るようにする。
自分が納得できないと物事を次に進めないので
柔軟な対応ができるように努力中です。



スタッフ紹介

期待のニューフェイス

河内 紗貴

SAKI KAWAUCHI

看護師 内視鏡センター勤務

趣味・ストレス解消法

旅行やライブに行く、写真を撮ること、
たくさん笑って楽しむこと

好きな言葉

人に生かされて 人と生きている

初めてのことも多く患者さんやスタッフのみなさん
にご迷惑をおかけしますが、笑顔をどんな時も忘
れず多くの方の支えになれるように頑張ります



期待のニューフェイス

三吉 里圭子

RIKAKO MIYOSHI

看護師 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

旅行

好きな言葉

ありがとう

ミスしないよう初めてすることや
分からないことは先輩看護師に確認してから
行うようにしています。
自分がされて嬉しいと思う声かけや対応を
するよう心がけています。



期待のニューフェイス

万代 真理子

MARIKO MANDAI

看護師 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

趣味はないですが、好きな事は、映画鑑賞、
遠出して美味しい物を食べに行くこと

好きな言葉

感謝の心が人を育て、
感謝の心が自分を磨く

患者さま・ご家族としっかりコミュニケーションをとり
寄り添い、入院から退院まで安心して
入院生活が送れるように努めていきます。



スポットライトインタビュー

稲生 慎平

SHINPEI INOU

臨床検査技師

趣味・ストレス解消法

猫と戯れる

好きな言葉

引き寄せの法則

安全、精確な検査を心がけています。

感謝の気持ちを忘れずに。



スタッフ紹介

期待のニューフェイス

岸本 南

MINAMI KISHIMOTO

栄養課 調理室勤務

趣味・ストレス解消法

ハムスターと触れあうこと

好きな言葉

点滴穿石

患者さんが残さず食べたいと思えるような

見た目も味も美味しい食事を

作れるよう頑張ります。



チクバ外科のフラワーロード(その3)

会長 竹馬 浩

フラワーロードには外敵がいる。水やりを沢山しても、花にどうも元気がない。水が郷内川に流れてしまうのだ???. 探究心旺盛な私はその原因を遂に突き止めた。モグラのモグ太郎(※1)が縦横無尽にトンネルを掘っているのだ。撃退法を文献的に考察し(※2)、モグ太郎を全国指名手配したが、まだ逮捕には至っていない。ミズなどを食べるためにやってくるので唐辛子を撒いたり、超音波撃退器を数カ所に設置したり、捕獲器をホームセンターで買ってきてセットしたが敵は私より大分利口そうだ。何しろ夜行性で姿を見せないのが困る。トンネルを片っ端から潰してやったがダメだ。モグラタタキとはよく言ったものだ。でも、私は決して諦めてはいない。必ず逮捕して曝し首にしてやろうを思っているが、彼には首がないので厄介だ。



(※1)もぐらには眼がないが嗅覚が鋭いそうだ



(※2)参考文献

★チクバ自慢の人気メニュー★

秋鮭のまろやか南蛮漬け

【材料(2人分)】

鮭	2切れ(1切れ80g程度)	A	水	大さじ3
玉ねぎ	1/2個		酢	大さじ3
パプリカ(赤と黄)	合わせて1/4程度		しょうゆ	大さじ3
貝割れ	適量		みりん	大さじ2
			砂糖	大さじ2

塩・こしょう … 適量 片栗粉 … 適量 油 … 適量

【作り方】

- 1 鮭を半分に切り、両面に塩・こしょうをふる。
- 2 玉ねぎ・パプリカを薄切りに切り、水にさらす。
- 3 フライパンに油をひき①の鮭に片栗粉をまぶし焼く。
- 4 Aの調味料を鍋に入れ、ひと煮立ちさせた後冷まして③を漬ける。
- 5 漬けた鮭を盛り付け、上に玉ねぎ・パプリカ・貝割れをトッピングする。



Medical recipes

栄養価(1人分)
 エネルギー: 218kcal
 たんぱく質: 19.0g
 脂質: 8.3g
 食物繊維: 1.0g

管理栄養士の豆知識!



近藤正美

鮭にはストレス社会の現代にはなくてはならない、健康に有効な成分がたくさん含まれています。まずは、肝機能回復や疲労回復に働きがあるタウリンが多く含まれます。また、炭水化物の代謝を助けてエネルギーを作るビタミンB1も多く含まれます。さらに、アスタキサンチンという抗酸化作用のある成分が含まれており、シワ予防、シミ予防に効果的です。また、酢にも疲労回復・食欲増進・カルシウムの吸収を助けるなどの健康効果があるといわれています。酢はひと煮立ちさせると、まろやかになり食べやすくなります。ぜひ、秋鮭の南蛮漬けを食べて、夏の疲れを癒してみたいはいかがでしょうか。

はなし×ちくば

チクバ外科胃腸科肛門科病院 広報誌
第22号 2019年9月発行

広報誌「はなし×ちくば」は、患者や医療従事者の皆さんに専門性の高い医療活動をより分かりやすく紹介しています。
 タイトルのとおり「はなしかける」ように発信することで、よりよい関係を築いていくことを目指します。

印象に残りました。
 就任半年で、スタッフからの信頼を得てすでに看護部でリーダーシップを発揮しています。
 短期間でここまで頼られている理由は「せつかち」だけではなく「謙虚さと温かい人柄」にあるのだと思います。



編集後記

ACCESS

当院へのアクセス方法



高速道路から

瀬戸中央道の水島インターで「玉野岡山方面」出口から一般道へ。二つ目の信号交差点「郷内」を右折し、すぐ次の信号を左折（水島インターより約3分）。



一般道から

県道児島線（21号線）を児島方面へ向かい、水島インター手前のガソリンスタンド（ENEOS）のY字路左側。



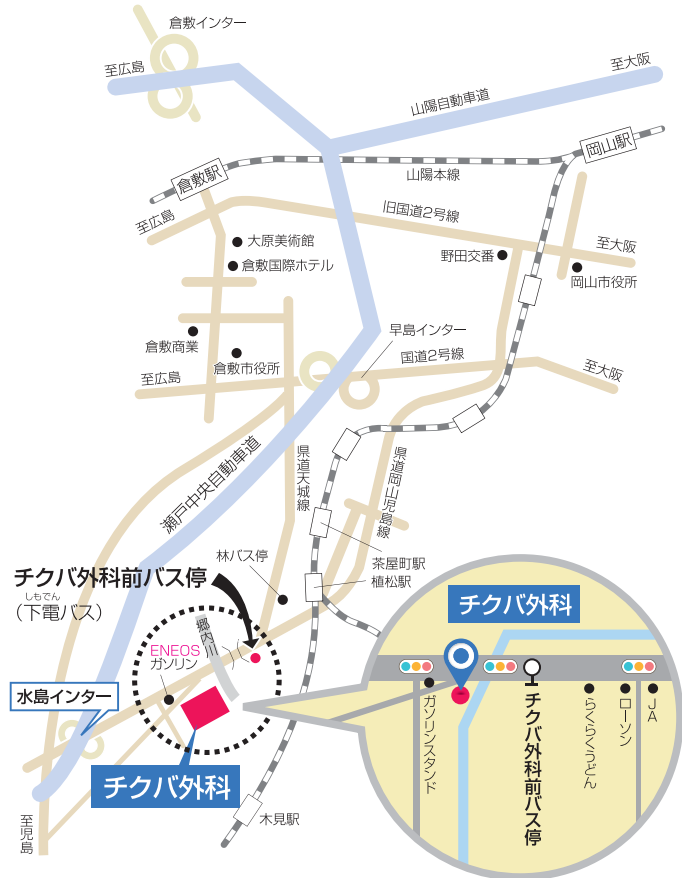
JRでは

JR瀬戸大橋線の茶屋町駅で下車、タクシーで約10分。



バスでは

倉敷駅前バスステーション6番ホームから下電バス「JR児島駅行き（天城線）」で約40分。「チクバ外科前」バス停にて下車、徒歩約1分。



チクバ外科

胃腸科・肛門科病院

〒710-0142 岡山県倉敷市林2217
TEL 086-485-1755 / FAX 086-485-3500

診療受付時間

午前8:30～11:30 / 午後1:00～5:30

ストーマ外来は予約制です。

<http://www.chikubageka.jp>

	月	火	水	木	金	土	
午前	たき 瀧 上	嶋 村	たき 瀧 上	休 診 日	たき 瀧 上	鈴 木	
	嶋 村	鈴 木	ちくば 竹馬 彰		嶋 村	根 津	
前	ちくば 竹馬 彰	谷 浦	鈴 木		ちくば 竹馬 彰	谷 浦	
	谷 浦	垂 水 (胃腸内科)	根 津		根 津	垂 水 (胃腸内科)	
午後	垂 水 (胃腸内科)		嶋 村		垂 水 (胃腸内科)		
	鈴 木	根 津	嶋 村 垂 水 (胃腸内科)(再診予約)		谷 浦	ちくば 竹馬 彰 垂 水 (胃腸内科)(再診予約)	

2018年4月～